



【教育目標】自ら考え 判断し 明日を創る子どもの育成

学校報 梵天

E-mail ouchi-es@edu.city.yurihonjo.akita.jp
<http://www.city.yurihonjo.lg.jp/edu/ouchi-es/index.html>

由利本荘市立大内小学校 校長室から
令和8年10月19日 No. 25

まさに 充実の秋です！

よりよい学校生活となるように、問題意識をもち、自分たちで考え取り組んでいる子どもたちの姿を、とても頼もしく感じています。今回は、3つの取組を紹介します。

まずは、放送委員会です。全校の前で堂々と表現できる大内っ子になろうと、例年「スマイルステージ」を企画しており、希望者が体育館のステージで発表を行っています。今回はさらにレベルアップを図ろうと、放送委員会の司会の2人も、張り切って蝶ネクタイをのびのびとした進行となりました。たくさんの人の前で自分を表現する場を経験すると、度胸がついていきますね。スマイルステージを大いに盛り上げてくれました。



次は、環境・食育委員会です。Ⅲ期（10月～12月）の目標は、「食品の栄養を知り、バランスのよい食事を心掛けよう」です。重点目標は、「できるだけ残さずにきちんと食べよう」としています。そこで、環境・食育委員会の子どもたちは、赤・黄・緑の3レンジャーとなって登場し、好き嫌いをしないで食べることの大切さを呼びかけてくれました。

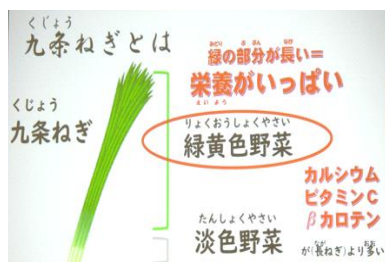


最後は、6年生のあいさつ運動です。みんなのあいさつが少し停滞してしまっていることから盛り上げようと企画してくれました。肩からたすきを掛け、手にはタンバリンを持ち、教室や体育館など、校内を回ってあいさつを盛り上げてくれています。元気なあいさつをしてくれた人は、タンバリンにタッチができるようです。6年生のすごいところは、常に「楽しんでやる！」という心意気です。6年生のおかげで、みんなの笑顔が広がります。



「秋田県産極上九条ねぎ」のお話（食育）

2日（金）、栄養教諭の丸山先生が、「秋田県産極上九条ねぎ」についてのお話をしてくださいました。この日は、秋田市「SENTE」さんの「極上九条ねぎ」が初めて給食に登場しました。23日（金）も、この極上九条ねぎを使った献立です。九条ねぎとはどんな野菜なのかを教えてください、「SENTE」さんのねぎ作りへのこだわりや愛情を映像を通して見せていただきました。また、給食センターで66kgもの極上九条ねぎを調理する様子も見せていただきました。「違いが分かる！」という子どもも・・・、「極上」の味を一一口かみしめながら味わって食べた子どもたちです。



おめでとう!

第72回青少年読書感想文コンクール

推薦	3年	阿部	***		
特選	1年	遠藤	**	2年	伊藤 ** 蒲野 *
	4年	伊藤	**	5年	菊地 *
	6年	小笠原	**		齊藤 *

大内ロードレース大会

小学2年男子の部（2km）
第1位
加藤 **

